

# 神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

## はじめに

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2011-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 丹生谷, 貴志, Nibuya, Takashi メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/559">https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/559</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# はじめに

研究班代表 丹生谷 貴志

本研究班の主題は「近代」である。しかし、「近代 Modernity」とは何か？  
時代概念としては19世紀以降、或いはそれは時に17世紀以降にまで拡張されるが、それが、「ポスト・モダン」という呼称が仮称として用いられようとした1970年代以降をもその範疇に入れるとすれば、現代まで続く「時代」の呼称であると漠然と理解されようか？

日本語の「近代」は文字通り「近代」を意味するものでさしあたりそれ以上の含みはない。しかし、その原語(?)とされる Modern, 或いは Moderne, Modernity, 或いは Modernité, にはそれ自体としては「近代」の意味はなく、だいたいそれは時代を意味する語ではなくて、敢えて訳せば「流れ去りだけから出来た世界」といった意になろうか。ラテン語の *modus* から派生してヨーロッパ中世に使われるようになった語で、「永遠なるもの」の反対概念として「流れ去り-流転-定在のなさ」、要は「儂さだけからなるもの」を意味し、それが「地上世界全体」を指す語として用いられるようになった概念語である。それが「永遠なる世界」の地上的モデルケースとして時に「古代世界(古代ギリシア)」が指示されることによって、地上的時間軸としては「永遠なる古代」に対して「儂き現在」の意に用いられることもあったが、そこにおいても Modern は時代概念ではなく、「この世界」の有りようを示す様態概念の内包の方が強い語であった。

そのような概念語であった Modern が或る特定の「時代」を指す語として用いられるようになったのは19世紀半ば、とりわけフランスの詩人-批評家 シャルル・ボードレールの論考に預かって大きいとされる(「我々は modern の

時に生きている」という言い方は一般化していたが、それにとりわけ19世紀（以降）を指す「時代概念」としての画定を与えたのがボードレールだろうということである。注意しなければならないのは、そこにおいても Modern は、その意味内容、概念内容において用いられたということである。ボードレールの真意を乱暴に要約してしまえば、「今や地上にも天空にも永遠なるものは存在しない。ただル・モンド・モデルヌ<sup>ル・モンド・モデルヌ</sup>がある。この現実を引き受けねばならない」という宣言として彼はそれを彼の生きた時代、19世紀（以降）に言わば、「刻印のような呼び名」として突きつけたのである。もとより、「絶対的永遠」という観念を持たず、世界の有りようを「流転 floting-world」と考えることに馴れた「東洋人」にはボードレールの宣言、或いはそれを受けてさらに激化したアルチュール・ランボーの「絶対的に moderne でなければならない！」という叫びに含まれた苦悶・苦渋は理解が難しい。要は荒唐無稽な「永遠なるもの」という観念に引き裂かれた「西欧文明」の自家撞着に過ぎまいと、その苦悶を苦笑とともに遠く眺めることも可能であろうが、19世紀以降その「西欧」の異様な膨張運動に巻き込まれて渦の様なキメラ的世界となった「われわれの世界」において、それはありとあらゆるものの体内-精神に（知らぬうちに？）移植された亀裂となって、「この私たち」の中にも住み着いてしまったと理解しなければならない。そのことを銘記しなければならない。それは、われわれが何処に視座を取ろうと、避け難く、今ここの、「われわれの問題」でもあるのである。

\*

本研究班の主題は「近代」……しかし、その内包は、以上のような広がりと同着を持つ或る「苦悶」をめぐるものとなる。ここに集められた論考は何よりもまず、日本語的な意味での「近代」を主な範疇とするが、また、その語源である Modern の、本来の広がりにも繋がるものとなる。すなわち「流転の中で、流転において、流転を思考する思考とは何か」という主題へと広がるだろう。この主題において「東と西」は同じ一つの渦となり、主題となるだろう。